

ドラムブレーキ付運搬車 取扱説明書

この度は、お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

警告



- この表示を無視して誤った取扱いをしますと「死亡又は重傷を負う恐れ」があるため、以下の内容を守ってご使用ください。
- お子様や取扱説明書を理解出来ない人には、使用させないでください。
 - 人や動物は絶対に乗ったり、乗せたりしないでください。
 - 傾斜地には運搬車を放置しないでください。
 - 動作不良となる恐れがあるため、分解・改造はしないでください。
 - お客様の調整後は、安全に作動する事を確認した上でご使用ください。
 - 歩行速度(4km/h)以下でご使用ください。
 - 最大積載質量を厳守し、できるだけ等分布荷重になるようにしてください。
(重い荷物はできるだけ中心部に置き、片積みは特に避けてください。)
 - 解放レバーへの接触や、視界を遮ったり転倒の恐れのある積載はしないでください。
 - 破損した運搬車は使用しないでください。
 - 火のそばに置かないでください。
 - 危険物の運搬はしないでください。

注意



- この表示を無視して誤った取扱いをしますと「軽傷又は物的損害を負う恐れ」があるため、以下の内容を守ってご使用ください。
- 折り畳みハンドルが固定(ロック)していることを使用前に確認してください。
 - 折り畳みハンドルの固定解除する際は、必ず足踏みで操作してください。
(手で操作すると、手を挟む恐れがあります。)
 - ご使用にならない時は、安全な場所に保管してください。
 - ボルトやネジが緩んだまま使用しないでください。
 - 急発進・急停車・急旋回しないでください。
 - 平坦な路面でご使用ください。
 - 運搬車に強い衝撃を加えないでください。
 - ブレーキ操作以外に解放レバーを使用しないでください。

操作方法

- ハンドルと共に解放レバーを握るとブレーキが解除され、運搬車は走行可能となります。
- 解放レバーから手を放すとブレーキがかかり、運搬車は停止します。

点検項目

安全のためご使用前に必ず下記の点検をし、正常な状態でご使用ください。

- (1) キャスター及びキャスター支持金具
 - 軸受部に異常がないか。
 - タイヤにヒビ、破損、摩耗がないか。
 - 回転、旋回に異常がないか。
 - キャスター支持金具に変形がないか。
- (2) ブレーキ部
 - 解放レバーを放した状態で停止し、左右のバランスは均一になっているか。
 - 解放レバーの動きと車輪の回転、停止は適切に連動しているか。
- (3) ハンドル(特に取付部、折りたたみ部)に損傷、部品の脱落がないか。
- (4) 車体に著しい変形や亀裂がないか。
- (5) ボルト、ナット類の脱落、損傷及び緩みがないか。

こんな時には

もう一度各部品の損傷、部品の脱落などがないか確認してください。

☆ブレーキの効きが甘くなった!

- 最初に③**抜け防止ナット**を下側に進め、①**ブレーキ調整ナット**を下側に進めるとブレーキの効きが強くなり、上側に進めると弱くなります。左右のブレーキの効きを確認しながら調整を行ってください。
調整が行えたらブレーキレバーと③**抜け防止ナット**に5ミリ程度の隙間を持たせてください。
(BIG500-DBに隙間は必要ありません。)
- 調整後に⑤**解放ロッド**がたわみ過ぎている場合は④**ロッド調整ナット**を下側に進め、⑤**解放ロッド**中央部のたわみ量を5ミリ程度に調整してください。
(調整時⑤**解放ロッド**を張り過ぎると、②**ブレーキレバー**が持ち上がり、効きが甘くなりますのでご注意ください。)
- 以上の調整で直らない場合は、スプリングのへたり、ブレーキライニングの摩耗などが考えられます。
各部品の交換が必要です。(弊社にお問い合わせください。)

☆解放レバーが動かない!

- 調整により③**抜け防止ナット**を締めすぎて②**ブレーキレバー**の動きを規制している恐れがあります。
拡大図のように5ミリ程度の隙間が必要なので③**抜け防止ナット**を下側に進めてください。
(BIG500-DBに隙間は必要ありません。)
- ブレーキドラムが錆び付いて固定している可能性があります。水気の多い場所や食品運搬で比較的多い例です。
各部品の交換が必要です。(弊社にお問い合わせください。)
- その他、ご不明な点などがあればお気軽に弊社へご連絡ください。

